

伊豆署におけるノウサギ捕獲の一考察

伊豆森林管理署 町野弘明

【1. ニホンノウサギとは】

- 形態：ほぼ全身茶褐色で耳の先が黒い。頭胴長45～55cm、体重1.3～2.5kg
- 分布：日本固有種で本州、四国、九州に分布
- 生態：林や草原に生息。主に夜行性で草木の芽、葉、樹皮を食べる。



ノウサギの全長 ノウサギの被害箇所

【2. 伊豆署でのノウサギ被害】

伊豆署では、令和元年度及び令和3年度にノウサギ被害が発生。

しかし、防除・捕獲に関する知見が少なく、加えてノウサギは警戒心が強いいため、捕獲が非常に難しい。

生態に関する知見を蓄積し、捕獲手法を模索していく必要

【3. 生態調査の結果】

令和元年度からセンサーカメラによる生態調査を実施

- 〈行 動〉○鹿柵と地面の隙間を通して造林地と林内を往復（およそ1～2日おき）
○移動経路として作業道を頻繁に利用
○造林地内でノウサギの幼体を確認されたため、造林地内で繁殖している可能性が予測される
- 〈誘引餌〉○様々な誘引餌を試した結果、ニンジンの葉及びヘイキューブに採食が見られた



ノウサギの侵入口



鹿柵の隙間から侵入するノウサギ



造林地内のノウサギ幼体



ニンジンの葉を採食するノウサギ

【4. 様々な手法での捕獲の実施】

令和元年度から造林地内で職員実行によるノウサギ捕獲を開始

- くくり罠：真鍮線等でこぶし大の輪を作り、木本類にくくりつけたもの
- N型罠：長さ100cm、高さ30cmのナイロン網をN型に張り、Nの鋭角部分にくくり罠を設置
- かご罠：アニマルトラップ（幅26.5cm、高さ31.5cm、奥行き81.5cm）



くくり罠



N型罠



かご罠

（馴化に1カ月半程度）（馴化に3カ月以上）

くくり罠で捕獲成功！

くくり罠での捕獲

- ①結束線を使用（針金は過去の捕獲時にノウサギが違和感を感じていたため）
- ②ノウサギが通る道を見極める
- ③木本類にくくりつける長さを短くする



N型罠に慣れつつあるノウサギ



かご罠に慣れつつあるノウサギ



くくり罠に使用した結束線



設置したくくり罠

【5. まとめ及び今後の展望】

- くくり罠で捕獲成功したが、その他の罠では馴化に1カ月以上かかる
- 誘引餌としてはニンジンの葉、ヘイキューブが有効
- ノウサギは造林地と林内を頻繁に往復するため、定期的な鹿柵点検が非常に重要

- 今後はくくり罠による捕獲の精度を高めるとともに、その他の罠での効率的な捕獲手法を検討
- ニンジンの葉、ヘイキューブの誘引効果を検証し、同時にその他の有効な誘引餌を探索